



昇りゆく朝日を表し
希望と喜びの願いが
こめられている

ほほえみ

第11号 2007年6月

目次

- p 1・2…………職員紹介
- p 3・4…………高森寮だより(生活編)
- p 5…………高森寮だより(作業編)
- p 6…………高森寮 新事業について
- p 7・8…………地域活動支援センター便り
- p 9・10………こんにちは高森寮さん
- p 11…………作ってみませんか卵料理
- p 12…………高森寮法人会計報告
- p 13…………ほほえみコーナー



職員紹介

看護師

指導主任

事務所



西脇美智子

利用者の方々とのやりとりには難しさもあるけれど、「にしわきさん明日来る？」と聞かれると元気倍増です。



栗屋千代美

高森寮がこれから目指すべきものの深さと広がりをおの“広い背中”でぐっと受けとめ、日々明るく前向きに利用者のみなさんと共に生活していきたいと思っております！



(左) 手島 清士(施設長)
(中央) 榎木野 秀徳
(右) 手島 智子(副施設長)

膨大な事後処理をおの笑顔でのりきっています！新体制になってもおまかせあれ！



宇藤育三

建築、電気、水道、その他諸々、何でも頼れるマルチ職員です。



山村京子

生活担当。やさしい語り口が同年代の男性の心をつかんでいます！



友岡康幸

主に作業担当・長身と“説得力のある”語り口が魅力的！



安達京子

面倒見の良いご近所さんという感じでしょうか。高森町出身です。現在は山都町から通勤しています。



今村恵理

活動支援センターから寮に帰って来ました。以前は卵の配達もしていたので見覚えのある方も多はず。



後藤理恵

愛車前で…。今年から生活担当に返り咲き！一花咲かせようと活躍中。



堀かおる

二十歳で入っては数年。もうベテラン？の域に達している所でしょうか。主に利用者の生活全般を担当しています。若手3人組の一人。



吉岡美紀

昨年の写真が余りにひどかったので、「今年は綺麗に撮ってね。」と熱望されました。いかがです？



佐藤美春

なんとなく母親的な雰囲気を持っていて、優しいお母さんと言った所でしょうか。山都町から通勤しています。(結構遠い)



田原勝美

部類の犬好き。今年も愛犬と登場！家には3匹のシーズー犬がいるとか…。



楠林 衛

ただいま卵配達で奮闘中！
この顔と卵配達の手を見たら一声掛けてください。
「お願い致します。」



山室博己

ほのぼのとした語り口
と雰囲気ですべてを和ませ
てくれています。



岩下エミ子

色見から通っています。
主に棟内全般の仕事をして
います。二児の母。



二村真純

近所から通ってます。
主に生活全般の仕事をして
います。

夜勤者



桐原利光

今夜の安全も私達におまかせ下さい。



後藤正雄

はじめまして！4月1日か
ら仕事を始めました。
毎日、はりきってます！
「よろしくお願ひしまーす。」



百武末美

佐賀県出身です。南阿蘇が
気に入って数年前に引越
してきました。(ちなみにご
主人はスタンドグラス職人
さんです。)



住吉富美子

高森寮の全てを知って
いる？
貴重な存在！

栄養課



立山定男



工藤直子



工藤哲子



高宮良子



柿添宏昭



今村キミ工



桐原美和



藤田のり子

いつもおいしい食事を作っている栄養課職員。
この笑顔からしてもおいしさ納得！

高森寮だより

12月～5月

(生活編)



消防総合訓練
本番さながらの動きで!

阿蘇広域南部分署の消防職員立ち合いのもと12月1日、午後より消防総合訓練を行いました。

利用者の部屋から出火し、負傷者もいる事を想定して本番さながらに初期消火、避難誘導、介護活動を行いました。その後、消火器を使用しての消火体験をグループホームの7名が行いました。



(写真は今井あけみさん)

最後に消防署員から講評を頂き問題点を指摘され、気持ちを引き締めました。

成道会 約100名参加!



みなさんが楽しみにしていた、成道会を平成18年12月7日に行いました。

午前11時から高森町本城寺住職の読経と説法の後、待ちに待った料理の登場です。

全員の「いただきます」の声の後で、思い思いに料理に手が出て栄養課手作りの料理があつたという間になりました。

成道とは...

お釈迦様は裕福な家庭に生まれました。

29歳の時、人間の幸福や老・病・死という人生の苦悩の解決を求めて出家しました。

出家してからは自分の肉体を痛めつける苦行をすることで苦からの脱出の道を探しましたが、それから6年間見つけることが出来ませんでした。

肉体を苦しめることにしても、悟りを開くことができなかったお釈迦様は、苦行をやめて大きな菩提樹の下で瞑想に入りました。

瞑想して49日目の早朝、悟りを開かれ仏陀(ぶつた)とられました。成道(じょうどう)というのはお釈迦様が悟りを開いた事をいいます。

12月27日
餅つきを行いました!



12月26日の午後から、寮の近くに住む職員宅から臼と杵を借り、餅つきを行いました。



臼から出したつきたての餅に職員があんこを入れたり、平餅にしたりして、皆さんに配り食べていただきましたが...



「あつ」という間になくなりました。

宴はなやかに!! 桜の下で

4月5日(木)に寮内でお花見をしました。



こちらが“花見弁当”

今年も栄養課職員手作りの弁当に舌鼓を打ちながら、といつても見ているのは桜よりもお弁当。
中に何が入っているかが見えなくて、楽しみで、花見にならなかつた人もいたようで(笑)
天気もよく、普段と違って外で食べるお弁当はとても美味しかったですよ。
朝から準備してくれた栄養課の皆さん、ありがとうございました。

五月晴のもとで...



ある日の歩行時の休憩中！
(前庭にて)
夏までの光景なので、しみじみと観ておられる方も...



その頃、竹下豊さんは部屋で皆さんのタオルをたたんでいました。
「いつも、キレイにたたんでいますよ。」

起工式開催!

工事の始まりを祝って。

現在の高森寮の老朽化に伴い平成18年12月4日、午前10時より、新高森寮の建設予定地で起工式を執り行いました。
起工式では工事期間中の無事を願って本城寺住職の読経に続き、鍬入れが行われました。
今年7月完成、8月入居予定です。



高木林寮だより

12月～5月

(作業編)

「トウモロコシ」飼料への道

飼料用トウモロコシを寒い中みんなて収穫します。



ハウス内にトウモロコシを吊り下げ、乾燥させます。



トウモロコシの実取り作業。みんなて楽しんで取り組まれます。



トウモロコシの粉ひき(ここまで長い工程です)



自家製トウモロコシ粉。お味は格別！「大きく育ててね。」



新鶏舎お披露目間近!!

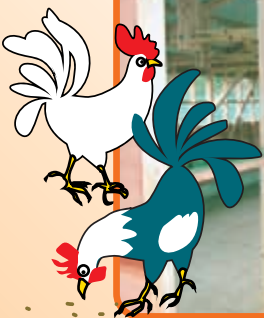
肉用鶏舎を新しく2棟建築中です。



フェンス内は「運動場」



ゆったりとしたスペースで伸び伸びと育てます。



**障害者自立支援法の
施行に伴い、
8月1日より高森寮
の福祉サービスは後
記の事業を開始しま
す。**

(1) 事業の種類

〈住まいの場〉

- ① 施設入所支援（高森寮）
施設に入所して、夜間や休日の入浴、食事等の介護の利用ができます。
- ② 共同生活援助（グループホーム）
グループホーム「高森」グループホーム「未来」高森町内で共同生活をしながら日常生活上の援助が利用できます。
- ③ 短期入所
高森寮の宿泊利用ができます。

〈日中活動の場〉

- ④ 生活介護事業
常に介護を必要とする人に、日中の介護及び創作的活動や生産活動の機会を提供します。
- ⑤ 自立訓練（生活訓練）
自立した日常生活又は社会生活ができるように一定期間生活能力の向上のために必要な支援をします。
- ⑥ 就労移行支援
就労を希望する人を対象に一定期間就労に必要な知識及び能力の向上のための支援をします。
- ⑦ 地域活動支援センター（高森町・南阿蘇村・西原村委託事業）
日中センターに通い創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流等ができます。食事、入浴、送迎サービスもあります。

⑧ 相談支援事業

（高森町・南阿蘇村・西原村委託事業）
生活全般に係る相談や福祉情報の提供を行います。

生活全般に係る相談や福祉情報の提供を行います。

⑨ 日中一時支援事業

（南阿蘇村委託事業）

家族の負担軽減のため、日中活動の場を提供します。

(2) 利用の手続き

① 利用申請及び相談

各市町村の福祉課にご相談ください。

② 障害程度区分の聞き取り調査

各市町村の担当者による障害の程度の調査が行われます。場合によっては医師による意見書が必要となります。

③ 市町村によって利用される福祉サービスが決定されます。

知的障害とは

知的障害とは（その1）

障害者自立支援法が施行されて1年、さまざまな弊害が出てきているようですが、高森寮にいる方達は毎日生活していかなければなりません。

前回の《マルクのひとりごと》の最後に「健常者と障害者の区分けは何なのかも考えてはいかがでしょうか」と書きました。

最近では知的障害者を主人公にしたテレビや映画をご覧になられた方もいらっしゃるでしょう。でも、主人公のような人達ばかりと思ってしまうと困ってしまいます。

私自身、数年前にホームヘルパーの勉強をした時には「福祉といえは高齢者」と思うほど衣服の着脱や車椅子の移動方法を学習し、知的障害者の事は長時間ある学習時間の中で数分学んだだけでした。

一番良いのは高森寮に遊びに来ていただいで、生活している人達とふれあっていたことだと思います。

前置きが長くなりましたが、それでは知的障害とはどういう障害なのでしょう。

まず、生まれながらの障害という事です。

原因は色々あります。遺伝・染色体の異常・血液の病気・乳幼児期の高熱・栄養状態・胎児期の母親の薬物や飲酒などもあるとされています。(つづく)

地域活動支援センターだより

12月～5月

ツリー



今年も湧水トンネルで行われたクリスマスファンタジーにツリーを出展しました。皆さんと悩みながら作ったツリーが見事来客者の投票で1席をいただきました!!

受賞式には代表してセンター利用の高倉裕也さんに出席していただきました。



忘年会



カナッペ、フルーツのヨーグルト和えの2品を皆さんと作り、忘年会を行いました。手作りのおやつに舌鼓を打ちながら今年楽しかったこと、来年の抱負等を語っていただきました。

自分たちで作った料理のお味は？
『最高です!!』



春にむけ
ツリーは少し早めに
衣替え

ピアノ発表会



3月末、二子石智美さんによるピアノ発表会を行いました。

二子石さんの緊張が伝わったのか聴いている皆さんも少し緊張顔でしたが、真剣に聴いておられました。



春よこ～い!!

今センターでは、こんな事を していま〜す!!



誕生日会

その月の誕生日の方に皆で書いたメッセージ色紙を渡し、お祝いしています。

クッキング

月の一度のお楽しみ?! 希望される方達とおやつ作りをしています。



いちご大福作り



旬のいちごを使った甘くて、おいし〜い! いちご大福ができました。

芋むしパン制作中!!



自分達の育てた芋を使って作った『芋むしパン』完成です!!



活動

3月3日のひなまつりに向け、2月中旬ひな段かざりを準備しました。



あたたかい日差しを受けながら、今日も散歩に出かけました。



鬼は外! 福は内!! 元気な声にセンターにも福がやってきたかも!!



春の恒例行事(?!) 『よもぎつみ』 秋にはおいしいよもぎもちになります。

作品



今年の書き初めを和紙でアレンジ! 春らしくカラフルに!!

今年は春からセンターでの勤務再開です。センター内のことから庭木の手入れまでおまかせ!

工藤 教昭



本田 ユカ

4月からセンター職員となりました。これからもかくされた才能を出していこうと計画中です!

センターご利用のみなさんのパワーを吸収しながら今年も若々しく過ごしていきます。

橋本 精男



興梠 真紀

いつのまにか、5年もたっ
てしまいました。33名のみ
なさんとこれまたあつとい
う間の毎日をおくっていま
す。新たなメンバーもいつ
でもお持ちしていま〜す。

センター
職員紹介

高森寮とのかかわり



高森寮との関わり

高森寮理事 山室 宗敬さん



突然の原稿依頼で、文章を書くのが苦手の私ですが、断り切れず書くことにしました。

寮開設当初より、名称は存じていきましたが内容については、余り知りませんでした。その頃、母ツユが寮生の方々を、週一回程度訪問し、交流があったことを知っています。ほとんど歩いて行っていた母を時折車で送っていました。その後、私の妻や娘が短期間ではありましたが、勤務していた頃もありました。

私自身は、教職の最後の頃、高森中学校の生徒達が部活単位や生徒会など、現在の「ふれあいフェスタ」の前進である「ふれあい祭り」に、ボランティア活動の付き添いとして、十月初めの日曜日に向っていました。丁度その日は、郡内の小・中学校

の特殊学級の合同運動会が、瀬の本高原で開催されていて、午前中はそちら、終わって午後は高森寮の「ふれあい祭り」という日が四年間程続きました。

仕事を退職してから、町のボランティア協会に加入し、寮からの要請もあり、協会の会員として「ふれあい祭り」や寮生の校外行事などに参加しました。祭りでは、初めての体験で「やきとり」を焼き、または飲み物の販売など手伝っていました。寮の遠足に一度は河内の「みかん狩り」をサポートしました。山の斜面のみかん山で、寮生の方々、職員の方々と一緒に食べたみかんの美味しかったことなど忘れられません。帰路は金峰山をバスで越え、本妙寺で参拝し、トイレ休憩、その間、バスの乗降のお手伝いなど楽しい一日を過ごした事が思い出されます。それを機会に寮生の方々と道で出会ったり、町で見かけた折りに挨拶を交わすようになりました。

その内に、法律の改正により、施設に「苦情解決委員」を置くようになり、平成十四年四月から、高森町の先輩である児玉先生らと関わりました。この高森寮日より「ほほえみ」の創刊号の出た二〇〇二年四月からのことでした。殆ど苦情はなく、簡単な問題は、職員・寮長の方々に解決されていました。この「ほほえみ」にも、何度かその苦情が掲載されていました。

一・二年後、今度は、法人の地元理事をという話があり、随分と固辞しましたが、たつての要請があり、現在に至っています。理事としては、年数回の理事会、開催場所は高森寮であったり、熊本市内だったり、出席は毎回していましたが、寮の運営、川尻保育園の運営等、予算執行状況の話し合いました。寮長さん、園長さんの説明を聞きながら、微力ではありますが、事業の検討に携わってきました。

最後に、これからも寮と関わっていくと思いますが、寮生の幸せ、社会復帰を目指して行かれるよう地域・行政の方々の理解を得て、頑張っていこうと思

ともいせえのこ

思いやりのある町

高森町身体障害者福祉協会会長 瀬田 博さん



木々の花も終わり、新緑が目にしみる季節となりました。

私が高森寮の皆様とお会いしたのは、だいぶん前になります。南阿蘇鉄道のレールバスの車内を清掃していたいたいた時が初めてです。

私も交通事故で、頸髄を損傷し手術、約一年の入院で障害者となり、元気がたつた自分が嘘のように思われ、今でもリハビリに励む毎日であります。

平成十八年四月前財津会長の高森町身体障害者福祉協会会長を引継ぎ、皆様のお世話をするようになりました。その後、障害者を取り巻く社会福祉の仕組みが大きく変化しました。平成十八年四月から障害者自立支援法の、抜本的な見直しを実施され、平成

十八年十月から全面施行され障害者の地域における自立した生活を支援する体制が図られるようになりました。

高森町でも、障害者基本計画が三回の策定会議をへて、五月十日に決定されたばかりです。

そこで、安心して、楽しく、豊かに暮らせる高森町の実現に、自分は何をすべきかを考えると、さまざま人と接し、見聞の中に無限のメッセージが隠されていると思います。

それを理解することが、あらゆることから学ぶことだと思います。

そのため想像力と直感力を使い納得し、今からの人生を愉しんで生き、すこしでも皆様の役にたてばと思います。

高森町障害者(身体・知的・精神)の福祉サービス使用で、人格と個性を尊重し安心して暮らせるように、住民や地域、団体、企業、行政が連携を図り、相互理解のもと、支えあい、思いやりのある町づくりを、努力して行きたいと思っております。

保護者の声

感謝

小島 十三日さん



幸代さん(右)とお二人で

て地域の方々温かい心で接して下さっているからだといから有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

今思えば、小さく生まれ、救急車で別の病院へ…。保育器の中で熱が四ヶ月続きその後手術。半年後に退院はできましたが、その後も入院の繰り返しで気を抜くことは出来ませんでした。

年月の経つのは早いものです。私共の末っ子として生まれて三十年余り。親と暮らしたのはほんのわずかで、殆ど別に暮らしてきましたので、幸代のごことはあまりわかりませんが、寮にお邪魔した折、掃除などしてる様子を見ます時、寮にお世話になってから明るくなった気がします。寮長さん、職員の方、そし

今の様子からは想像も出来ません。幸代が、父親を亡くして六年になりました。家に帰ると先祖や父に手を合わせて拝んでいます。そして私に「お父さんいない、死んだ。お墓にいった。じいちゃん、ばあちゃんにはお兄ちゃんがいると言います。自分なりに、お父さんはいないけど、お兄ちゃんがいるからと、言い聞かせている様な気がします。大好きなお兄ちゃん、帰省中には「何処へ行くね?」、と言って連れて行ってくれます。買い物に行くとき必ずパズルを買って来ます。作ったりわしたりしてパズルの好きな幸代です。何でも良く話してく

れます。でも、私が理解できない時もあります。そのたびに自分が情けなくなり「わかっやれなくてごめんね」と謝っています。寮の皆さんには理解してもらえてるのかな?」

寮外での生活になった場合、他人との意思疎通が大丈夫だろうか…と、そんな思いでいっぱいになり考えてしまいます。これからも身体に気を付けて元気でいてほしいと願うばかりです。

今後共お世話になります。どうぞよろしく願います。



職員の声

ぐっしょぐっしょ!?

田原 勝美



私がまだ小学生の頃、高森寮が建ちました。私も年齢を重ねましたが、高森寮も老朽化しています。

現在、7月の完成を目指して新しい高森寮が同じ敷地内に建設中です。

完成に伴い、新しい支援体制になります。何か新しい事をする時には、「よそ者・若者・ばか者」がいるほうが良いと聞いたことがあります。

あいにく私はよそ者です。(高森生まれではありません。)

本人は若いと思っています。そして、決して利口者でもありません。(良い意味ではか者と思っています。)

新しい施設、新しい体制でこの微力な「よそ者・若者?・ばか者」がどのような仕事が出来るか分かりませんが、今までもそしてこれからも、高森寮に「この人がいて良かった。」「あの人がいて良かった。」「と言われるような仕事をしていきたいと思っています。

縁あって利用者・家族・地域の皆さんにめぐり逢えたのですから。

作ってみませんか 卵料理

中国式プリン

【材料】(一人分)

- 寒天 …………… 0.8g ●パセリ …………… 8g
- ゼラチン …… 1.5g ●生クリーム… 25g
- 卵黄 …………… 18g ●水…………… 15g



- ①ゼラチンに3倍量の水を入れ、ふやかして置く。寒天も洗い水に渡しておく。
- ②鍋に①のゼラチン・寒天を入れ、火にかけ煮溶かす。
- ③卵黄・砂糖・生クリームを入れ、きれいに混ぜておいた物に②を入れて冷やし固める。
- ④上に好みのブルーベリーをミキサーにかけて、ソースを作りかけたり、生クリームを泡立てたりしてかけて食す。

高森寮有精卵



ギフト (30コ入り) **1,400円**

ギフト (60コ入り) **2,600円**



阿蘇の大地を走り緑草を食べた鶏の有精卵です。是非ご賞味下さい。

(黄身を濃くしたり、殻の色を変えたりする薬や抗生剤等は、一切使用していません。)



配達先での1コマです!!



パック(10コ入り)

400円

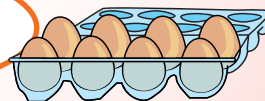


パック(6コ入り)

240円

成鶏・牧草・ふあま・フィッシュミール・自家製発酵飼料・トウモロコシ・米ぬかを与えています!!

日中は鶏舎周辺の茶畑に放し飼い



TEL 0967-62-1780 FAX 0967-62-2368



Q 高森寮では食肉用の鶏も飼われているようですが、どこに行ったら食べられるのですか?

A 白水にある六花亭という直営店で食べることができます。このお店では炭火焼きを中心にコース料理等を提供しています。鶏の育成期間は、150日と若い内に出荷しており味もジューシーでとても美味しいです。特にレバーの刺身は絶品です。是非お越し下さい。(詳しい場所は13ページをご覧ください。)

利用者のいい顔を紹介します!!

ほほえみコーナー



藤原 五十子さん
山都町出身

朝・昼・夜と挨拶をすると
《ほほえみ》で返事してく
れる五十子さん。
このほっぺに癒しを求めて
いる人も多いはず。



興梠 増視さん
南阿蘇村出身

数字・曜日にかけては増視さんの
右に出る人はいません。
「2010年の3月1日は何曜日です
か？」（編集者の誕生日）との問
いに、「月曜日!」と《ほほえみ》
で答えてくれました。



最終原稿を出した後の充実感!!
な〜かなかいいものですよ。次回がまた楽しみ!
のような…。

(けい)



私の使用前(?)使用後(?)の写真をご覧いただけたで
しょうか?...さて、私は誰でしょうか!

(ジュニア)



今回もあっという間に時が過ぎてしまいました。
早くしなくては...といつも思うのですが (苦笑)

(ひまわり娘)



「ほほえみ」完成とともに“ほほえみ”を残して去る
ことになりました。お世話になりました。

(Y)

編集後記 (ほほえみ会の声)

阿蘇白水・
地鶏の店

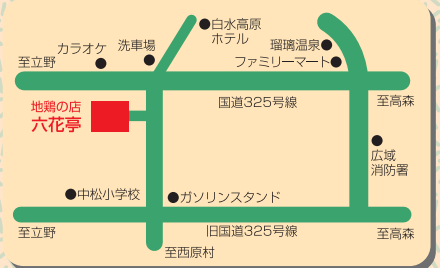
六花亭

からの
お知らせ



六花亭コース 2,100円

ご予約 承ります。



お電話お待ちしております。

TEL・FAX 0967 (62)8128

ホームページを開設しました!!
(高森寮の魅力がぎっしり!)

ホームページ
アドレス

<http://takamoriyo.jp/>

高森寮だより ほほえみ

編集 / 高森寮広報委員会 発行 / 高森寮 第11号平成19年6月発行

〈住所〉熊本県阿蘇郡高森町色見822

TEL 0967-62-1780 FAX 0967-62-2368